

こころくばり

「マナーとは周りの人々に嫌な思いをさせない、相手への誠意や敬意を形にしたもの。」

16日(金)に、2年生は27日から行われる職場体験に向けて、マナー教育サポート協会の鈴木さんを講師に研修を行いました。

職場体験に限らず、周りの人々に嫌な思いをさせてはいけません。「マナーとは相手への誠意や敬意を形にしたもの」文字にすると、改めて大切にしなければならないと感じます。説明に「人は見かけで判断してはいけないが、実は無意識に判断してしまう。」とありました。つまり ①表情 ②身だしなみ ③あいさつ

④言葉遣い ⑤動作 は、相手の第一印象を左右するということになります。特に今回は各職場にお願いして、清瀬中の生徒のために時間と場所を割いていただきますから、相手に対して失礼があってはなりません。相手に対するこころくばりが必要です。



生徒会企画“エコキャップ運動”で PET ボトルキャップ回収を行いました。50kgごとに業者が引き取ってくれ、ポリオウィルスワクチン約12人分と交換されます。そのワクチンを必要とする他国の子供たちへと贈られます。今回は生徒皆さんの協力で20.7kgが集まりました。昨年と合わせて48.2kg、あと少しです。異国の地の子供たちへ、ちいさなこころくばりです。



3年生の理科は“生態系”について学んでいました。“ナガエツルノゲイトウ”という南米産の特定外来生物が画面に映し出されていました。繁殖力、再生力が非常に強く、最悪の侵略的植物ともいわれます。茎の節から根が生え養分を吸収できるので、水陸どちらでも繁殖ができます。駆除しようと抜いた時に切れてしまえば、その切口からも繁殖が可能です。何という 芸当 !! 水辺で大群落を形成するため、水流を阻害することもあります。水田に侵入し、稲に覆いかぶさると収穫不能になる場合もあるのです。そして、日本在来の水生生物の生息を脅かします。つまりは、生態系を壊してしまう。こころくばりなどない植物なのです。

1組は校庭の北側に畑を開墾しました。ダイコンにニンニクそしてピーツ。にんにくは料理愛好の生徒から、ピーツは小学校時代にうまく育てられなかったという苦い経験にリベンジしたいという生徒からの提案です。2年生が大役である畑の管理 人に苦 勞し、いびつ なピーツを収穫しようとも苦勞の分だけ味は良好! 今ダイコンは最盛期。見事に育ちました。葉が大変大きく茂り、隣の大根の葉とぶつかりあうほどでしたが 大混乱というわけではありません。隣のダイコンに迷惑をかけないように葉を伸ばしています。一つ一つの大根を真上から観ると、葉がダイコンを取り巻きながら、せん状に配され、秩序あるパターンを描いています。これは、葉と葉が重ならないようにして、太陽の光を効率よく受け止め光合成するためなのです。



ダイコンにニンニクそしてピーツ。にんにくは料理愛好の生徒から、ピーツは小学校時代にうまく育てられなかったという苦い経験にリベンジしたいという生徒からの提案です。2年生が大役である畑の管理 人に苦 勞し、いびつ なピーツを収穫しようとも苦勞の分だけ味は良好! 今ダイコンは最盛期。見事に育ちました。葉が大変大きく茂り、隣の大根の葉とぶつかりあうほどでしたが 大混乱というわけではありません。隣のダイコンに迷惑をかけないように葉を伸ばしています。一つ一つの大根を真上から観ると、葉がダイコンを取り巻きながら、せん状に配され、秩序あるパターンを描いています。これは、葉と葉が重ならないようにして、太陽の光を効率よく受け止め光合成するためなのです。



ダイコンの葉の配置は、皆に日光が届くよう隣の葉を思い、誠意と敬意を形にしています。

“みんなで幸せになる” 葉と葉のこころくばりです。